

京都支部

大谷大学公開講演会

2024年度共通テーマ「学び、続ける」

講題 聞思して遅慮することなかれ

日時 2024年8月25日(日) 14:00~15:00

会場 大谷大学

定員 200名

慶間館1階 K101教室

※入場無料 事前申込不要

京都市北区小山上総町 京都市営地下鉄「北大路」駅下車

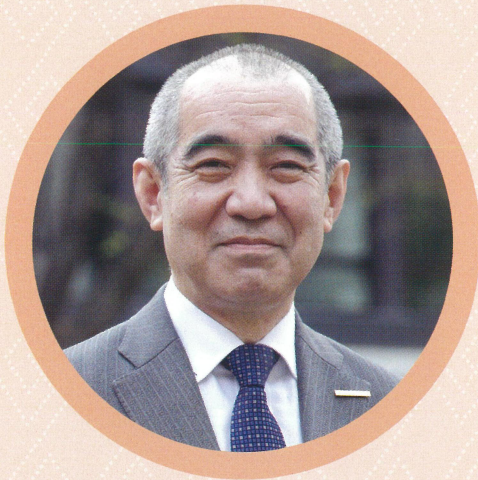
【講師プロフィール】

専門/真宗学

1957(昭和32)年9月 石川県に生まれる
1980(昭和55)年3月 大谷大学文学部卒業(真宗学)
1982(昭和57)年3月 大谷大学大学院修士課程修了(真宗学)
1985(昭和60)年3月 大谷大学大学院博士課程満期退学(真宗学)
1989(平成元)年4月 大谷大学短期大学部助手
1994(平成6)年4月 大谷大学講師
2000(平成12)年4月 大谷大学助教授
2007(平成19)年4月 大谷大学准教授
2009(平成21)年4月 大谷大学教授
2018(平成30)年3月 大谷大学博士(文学)〈学位取得〉

【著書・論文】

『親鸞聖人に学ぶ 一真宗入門一』(真宗大谷派宗務所出版部)
『大無量寿経講義 一尊者阿難、座より起ち一』(文栄堂)
『四十八願概説 一法蔵菩薩の願いに聞くと一』(文栄堂)
『シリーズ親鸞(第5巻) 親鸞の教化 一和語聖教の世界』(筑摩書房)
『日本人のこころの言葉 蓮如』(創元社)
『「入出二門偈」聞記』(東本願寺)
『阿弥陀経入門』(東本願寺)
『親鸞入門』(東本願寺)



講師 一楽 真 大谷大学学長

講演概要

仏教とは何か、何が人間にとっての救いなのか。親鸞聖人は問いをもって先達に尋ね続けた人です。その親鸞聖人が私たちに呼びかけているのが『教行信証』にある「聞思して遅慮することなかれ」という言葉です。ここには問い続けることの大事さと、答えに腰をおろすことの危うさが見据えられています。親鸞聖人の御生涯を通して、「聞思」の実際を考えたいと思います。

主催

大谷大学・大谷大学同窓会京都支部

大谷大学同窓会

検索

<http://www.mujiinto-otani.org/info/kouen.html>



1. 大谷大学・大谷大学同窓会では、毎年統一テーマを設定し、全国約80カ所で公開講演会を開催しています。
2. 天候等により、開催を中止する場合がございます。開催中止の場合は、同窓会ホームページでお知らせいたします。

Be Real
寄りそう知性



大谷大学